

# 陸平通信

OKADAIRA 2018年3月1日発行  
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359  
美浦村文化財センター（陸平研究所）  
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471  
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 94号

確認調査の整理実施中!



陸平I貝塚を調べる!

縄文土器の表面につけられている文様を調べて一つ一つの土器の破片を同じ種類ごとに分ける作業をしています。

昨年度、住民参加による陸平貝塚の確認調査をI貝塚で実施しました。今年度は発掘調査の参加者が出土した土器などの資料整理をおこなっています。調査の成果は平成30年度に報告書として刊行する予定です。

割れている土器の破片は土器のどの部分なのか、また土器に描かれている文様の技法なども学びながら整理作業は進みます。



陸平  
貝塚

## 竪穴住居復元プロジェクト 参加者募集

縄文時代を学びながら、できるだけ忠実に、そして楽しみながら、陸平貝塚公園の新たなシンボルとなる竪穴住居を再び住民参加のプロジェクトとして復元します。



- ◆期間 4月から約1年  
(土日を中心に20日程度実施予定)
- ◆内容 勉強会、設計、木の伐採などの材料調達、組立・屋根葺きなどの復元作業等
- ◆申込 3月31日までに文化財センターへ

## 陸平をヨイショする会 20周年記念誌発行記念コンサート

陸平をヨイショする会がこれまでの活動をまとめた記念誌を発行し、記念コンサートを開催することになりました。早春の午後、ピアノとケーナの音楽コンサートをどうぞお楽しみください。

- ◆日時 3月25日(日)  
午後2時開演(午後1時30分開場)
- ◆出演 山本 光(ピアノ)、渡辺大輔(ケーナ)
- ◆会場 文化財センター
- ◆入場料 無料
- ◆主催 陸平をヨイショする会



昔語りに耳かたむけて遺跡訪ねて巡る美浦 (日和吟社俚謡集より)

# 第2回 御茶園西遺跡をさぐる! 縄文時代①

御茶園西遺跡は平成 25 年度に遺跡の一部を発掘調査し、縄文時代後期（約 4,000 年前）と古墳時代後期（約 1,500 年前）の遺構や遺物が見つかりました。

今回は縄文時代の住居のひとつ第 5 号住居址（5 号住）をご紹介します。5 号住は直径 5 m 程の丸形で壁に沿って柱の穴が並び、中央に炉のある竪穴式住居です（写真①）。5 号住は住居として使用されなくなった後、壊れたり使用しなくなった土器等を捨てる場にもなったほか貝殻や魚・動物の食べかすも捨てられ、結果として小規模な貝塚ができました（写真②）。貝塚が残されていたことにより縄文人が近くの海（当時は海だった霞ヶ浦）から貝や魚等をとって来て食べていたこともわかりました。

5 号住からはさまざまな遺物が出土しています。その数は 5,000 点以上で 9 割以上が縄文土器でした。多くの土器とともに土製の腕輪（写真⑧）や蓋、

イノシシの牙で作った装飾品（写真⑩）、石器、貝を加工した貝刃なども出土しました。土器は高さが 50cm で重量感もある大きなものから手のひらに乗るくらい小さなものまであり、形は深鉢形（写真⑥、⑨）が多くほかに鉢形や壺形（写真⑦）のものもありました。現代人からみると深鉢形の土器は使いづらいように思いますが、縄文時代では主流の形でした。土器の中には煮炊きに使用された痕跡が残るもの、また、住居の中から埋甕として使われたと思われる土器（写真④）も出土しました。縄文時代の埋甕は埋葬に使われた土器を意味しています。

5 号住と同じ時期の住居はほかに 2 軒見つかりました。



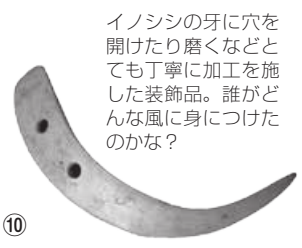
① 壊れた状態で出土した縄文土器。



② こんなところにも貝塚が！ 住居を埋めている土の上面に貝塚が見つかりました。



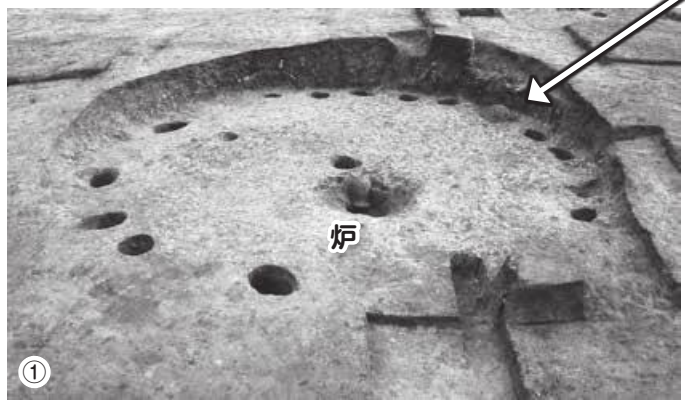
③ 骨を丁寧に加工して作って装飾品とされます。両端が折れているので全体の形はわかりませんが精巧な作りです。端から端までは 2.5cm 程。



⑩ イノシシの牙に穴を開けたり磨くなどとも丁寧に加工を施した装飾品。誰かどんな風に身につけたのかな？



⑨ 高さが 50cm もある土器。煮炊きに使用された痕跡があります。何を煮たのかな？



① 第 5 号住居址。住居の中央の窪みは炉でいつも火を焚いていたため地面が赤く焼け込んでいて、灰も白く残っていました。炉から大きな土器片も出土しました。壁際にある数々の穴は、多くが柱の穴。



⑧ 土製の腕輪。貝の腕輪を模して作られたと考えられています。どんな時に使ったのかな？



⑦ 手のひらに収まる位のかわいい小型の壺。下の方は割れています。とても薄くて軽く精巧な作りで黒い色をしています。わずかに朱色が残り赤く塗られていたことがわかりました。



④ 埋甕と思われます（④）。土器は下半分が割られていて、内面には何か液体が垂れたような痕跡がみられました（⑤）。



⑥ 高さが 45cm 程もあり底の部分は 11cm 程の細長い土器。何を入れたのかな？

# 「美浦かるた」で知る

## みほの文化財

今回の札は

「え」と

永巖寺 えいがんじ

地藏並んで じぞうなら

お出迎え でむか

時姫の ときひめ

願いをこめた ねが

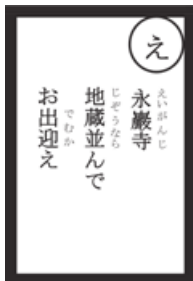
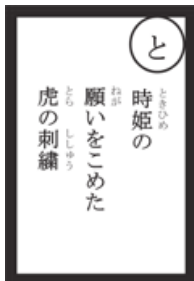
虎の刺繍 とら ししゅう

木原小学校の近くにある永巖寺は、今から約600年前の応永元年（1394年。室町時代）に木原城の城主近藤利貞が開いたと伝えられている曹洞宗の寺院です。江戸時代の絵図にも描かれています。木原城の三の丸に接する位置にあり、周囲に築かれた大きな土塁や堀は今もよく残されています。近藤氏代々の菩提寺としてその墓とされる石造物も伝えられています。

天文23年（1554年。室町時代）に木原城城主近藤利勝の娘が縫い、永巖寺に贈ったとされる「虎の刺繍」（県指定文化財）は、竹林の中に今にも飛び出してきたような勢いの虎が表現されています。



永巖寺が描かれている江戸時代の村絵図



## 美浦村の地名11

### 木・本橋・定光・間野地区

安中地区の木・本橋・定光・間野地区は太田四ヶ村と呼ばれ、明治22年に安中村ができる前はそれぞれひとつの村でした。太田という地名は木村にあった太田山地蔵院の山号に由来すると伝えられています。

木・本橋・定光地区は隣接した位置関係にあり周囲は田んぼに囲まれています。この3つの集落全体は遺跡（太田門遺跡）で掘跡を利用したと思われる水田もみられます。小字名として、表口、東門、門、前、中、入、薬師堂、根田、車堂、経塚、馬場先などが今も残っています。

木村には屋敷地の周囲に堀をめぐらして城郭を形成し、館内を門、前、中、入の四つに分け室町時代から木村一族が治めていたという伝承があります。かつて太田集落の北側には鬼門除けとして経石を納めた経塚が祭祀され、経塚という小字名が伝わっています。

このほかに木地区では、ぼい内、成井海道など、本橋地区では、阿ら敷、どじょう、細打、あらく、坂の免、

貝浦など、定光地区では、札ノ下、門口、成井門、網打、鬼越、保養地などの珍しい小字名があります。

間野地区には江戸時代の絵図に平臺山として描かれている独立した小さな台地があり小字名も平台として伝わっています。立地や形状から城郭関連遺跡の可能性が高い場所ですが、かつて競馬が行われていたという伝承もあります。付近に残る小字名には、戸之内茶苗、戸之内大官畑、城山、コンバ、ハツコウ、鬼越、鬼越、石ぼろ、などがあります。

間野村を描いた江戸時代の絵図



美浦かるたは美浦村女性行政推進協議会が作成した美浦村の魅力を紹介しているかるたです。

# 古代組みひも体験

古代の組みひもの技法でミサンガを作ります。

- ◆日時 3月31日(土) ※①②とも内容同じ  
①9:30～12:00 ②13:30～16:00
- ◆場所 文化財センター
- ◆対象 小学年生以上 ※4年生以下は大人同伴
- ◆体験料 200円
- ◆定員 各回10名(先着)
- ◆申込み 文化財センター

自分だけの  
ミサンガを作ろう



## 縄文体験の日

ゴールデンウィークに気軽に体験できるメニューをご用意して皆様のご来館をお待ちしています。新緑の陸平貝塚を散策したり1日楽しめます。どうぞ遊びにいらしてください！(事前予約不要)

- ◆日時 5月3日(木)  
午前9時30分～午後4時
- ◆場所 文化財センター
- ◆体験メニュー 縄文土器、土笛、  
縄文クッキー、  
まが玉 ほか



## 古文書講座 参加者募集

古文書を読んで村の歴史を知ろう。

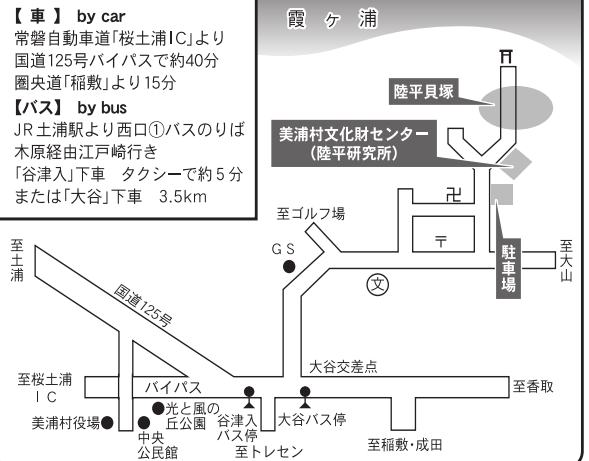
- ◆日にち 全10回(いずれも日曜日)  
①5月13日 ②6月10日  
③7月8日 ④9月9日  
⑤10月14日 ⑥11月11日  
⑦12月9日 ⑧1月20日  
⑨2月17日 ⑩3月10日
- ◆時間 午後1時30分～午後3時30分
- ◆場所 文化財センター
- ◆定員 15名(村在住・在勤の方)
- ◆参加費 無料 ※資料代がかかる場合があります。
- ◆申込み 文化財センター

## 陸平で体験を楽しもう！

- ・文化財センターでは体験受け入れや企画体験をおこなっています。ご利用、ご参加をお待ちしています！
- ◆グループ・団体向け(要予約・通年)  
5名以上のグループ・団体で体験ができます。陸平貝塚(国史跡)の見学とあわせてどうぞ。  
・体験メニュー  
縄文土器、ミニ土器、土笛、縄文食、まが玉
- ◆個人で体験を楽しみたい！  
縄文体験の日(5月3日)、夏の縄文体験などのイベントや文化財センターが企画する体験をご利用ください。陸平縄文ムラまつり(10月)でもさまざまな体験コーナーがあります。

## 陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】by car  
常磐自動車道「桜土浦IC」より  
国道125号バイパスで約40分  
圏央道「稲敷」より15分  
【バス】by bus  
JR土浦駅より西口①バスのりば  
木原経由江戸崎行き  
「谷津入」下車 タクシーで約5分  
または「大谷」下車 3.5km



体験や見学の申込み・お問合せは文化財センターへ 電話 029-886-0291